



2007年1月期 第3四半期 決算説明会

株式会社ACCESS
取締役副社長兼CTO 鎌田 富久
2006年12月18日

注意事項

- 本資料に含まれる業績目標等の将来数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものです
- 将来数値には様々な不確実要素が内在しており、実際の業績はこれらの将来数値と異なる場合がありますので、この将来数値に全面的に依拠して投資等の判断を行なうことは差し控えてください

. 23期業績と下方修正

第23期連結決算ハイライト (第3四半期・9ヶ月通期)



連結

連結対象会社: 連結子会社29社、持分法適用関連会社2社

(百万円)	第3四半期 (当期)	第3四半期 (前年同期)	前年 同期比	9ヶ月通期 (当期)	9ヶ月通期 (前年同期)	前年 同期比	前年通期	前年 通期比
売上高	5,928	3,839	154.4%	16,086	9,880	162.8%	17,269	93.2%
売上総利益	3,921	2,061	190.2%	10,590	5,626	188.2%	10,495	100.9%
販管費(通常経費)	4,935	1,573	313.6%	12,500	4,131	302.6%	5,780	216.3%
営業損益(特殊経費前)	1,014	488	-	1,910	1,494	-	4,714	-
販管費 (暖簾代等特殊経費)	3,728	-	-	11,475	-	-	-	-
営業損益(特殊経費後)	4,743	488	-	13,386	1,494	-	4,714	-
経常損益	4,509	416	-	13,013	1,459	-	4,604	-
当期純損益	4,444	232	-	12,829	905	-	2,784	-

第23期連結通期見通し



	4月20日時点	12月15日時点	(百万円)
	当初見通し	修正後見通し	差額
売上高	27,764	26,454	1,310
売上総利益	21,042	17,925	3,117
販管費(通常経費)	16,121	18,490	2,369
営業利益(特殊経費前)	4,921	565	5,486
販管費(暖簾代等特殊経費)	12,304	15,167	2,863
営業損益(特殊経費後)	7,383	15,732	8,349
経常損益	7,177	15,205	8,028
当期損益	9,648	16,318	6,670

減益の最大の理由： 成長への必要コストと、 予測対応不足



- (1) PalmSource 買収後の ACCESS Global 新体制の構築
販管費
- (2) 国内全 Wireless Operator 直接契約へ
提供ソフトウェアの増加、案件数の増加、案件規模の拡大
ソフトバンクモバイル向け新規にライセンス契約
研究開発費、受託粗利率
- (3) SAMSUNG向け体制強化のため ACCESS Seoul
を設立し(5月)、立ち上げ(0 80人)
受託粗利率、販管費
- (4) 海外メーカー(Nokia, SAMSUNG, LG, Motorola)の日本市場
新規参入のサポート。日本メーカーの数倍手がかかる。
受託粗利率
- (5) 今期に新製品開発が集中(ALP, IMS, 1セグ/3セグ, DLNA, ...)
研究開発費



ビジネスの拡大(国内携帯向け)

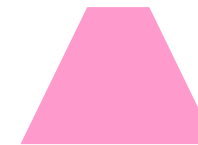
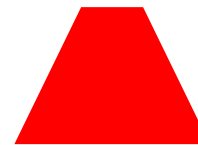
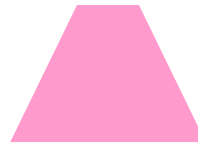
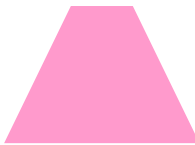
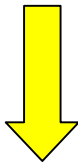


2005年

i-mode Browser
デコmail
PDF
Doja (一部)

EZ Mail
EZ チャンネル (SMIL)

Browser
メール
Java
PDF
Doc Viewer



2006年(今期)

i-mode Browser
デコmail
PDF
Doja (一部)
Full Browser
1seg Browser
SyncML
Doc Viewer (一部)

EZ Mail
EZ チャンネル (SMIL)
EZ チャンネルプラス
デコレーションmail
1seg Browser
3seg(デジタルラジオ対応)
SyncML
その他

Browser
Full Browser
ライブモニター
RSS (S!キャスト)
S!メール
1seg Browser
IMS (SIP, プレゼンス
Push to Talk)
その他

Browser
メール
Java (機能強化)
PDF
DoC Viewer
Full Browser
その他



足元の事業は順調、管理体制のグローバル対応が課題

中間期業績のまとめ

足元の売上増加、長期成長への準備も計画通り

◆ 足元の売上増加

- 国内、海外の携帯マーケットでの売上好調 例) Samsung、SonyEricsson、Vodafone KK
- ソフトウェア機能進化による売上好調 例) 1segブラウザ
- 非携帯分野での売上好調 例) DTV分野での出荷実績

売上高はほぼ計画通り
推移

◆ 長期成長への準備も計画通り

- ACCESS Linux Platform の開発進捗 Orange社の認定プラットフォームに
- End to End Solution の提供へ KDDI向けSync Serverソリューション
- 家庭内のAV機器、PC、モバイル機器連携へ DLNAモジュールの提供

将来ビジネスへの研究開発、
顧客との関係も引き続き順調

コストアップ内容と通期見通し

- ◆ 会計上の費用： 無形固定資産償却コスト、従業員ストックオプション、弁護士費用等
- ◆ 開発関連費用： ACCESS Linux Platform開発や、今後有望な新規研究開発への投資 (IMS関連、1,3,12 seg 関連、NMCS関連、NetFront関連等)
- ◆ 業容拡大関連費用： 人件費関連等、海外子会社販管費
- ◆ 通期で見れば、上昇したコストは吸収可能

Palm OS 新ライセンス契約により、コスト吸収の
予定であったが、会計処理方法確定に時間を要
するため、今回の下方修正を実施

さらなる成長へ向かって

- ◆ よりよいコスト・コントロールが必要

グローバル組織に対応した予実管理、プロジェ
クト管理、リソース活用を構築中

売上高はほぼ計画通り、開発も計画通り

・足元の売上高はほぼ計画通り

・開発も計画通り進行

ACCESS Linux Platform の開発進捗 商用版を、2月末にリリース予定。顧客からも強い引合い

・Palm Inc との PalmOS Garnet の包括的ライセンス契約締結(約51億円)

本ライセンス契約の会計処理方法確定には時間を要するため、保守的に通期見通しを修正

経常損益は予算比 80.2 億円の下方修正

A) 連結 - 買収関連追加費用(中間期にて言及済み)	28.6億円	
無形固定資産償却	-23.1億円	
ストックオプション支払	-11.0億円	
IPIのれん・無形固定資産償却年限変更	+ 5.5億円	
B) 連結 - 子会社業績	9.8億円	
ASE -1.3億円、ASC 3.1億円、IPI 3.0億円、ASA 4.6億円、他子会社計 +2.2億円		
C) 単体 - 減益要因別	34.5億円	
(1) 研究開発費を除く販売管理費の増加	7.5億円	(修正後見通し38.5億円)
(2) 見込より低粗利益	製品 10.1億円	(粗利率43% 36%)
	ロイヤリティ 5.4億円	
(3) 研究開発費の増加	11.5億円	(修正後見通し38.2億円)
D) その他為替等	7.3億円	

販売管理費・研究開発費の増加詳細



研究開発費を除く販売管理費の増加
(7.5億円)
グローバル企業として次のステップへ
飛躍するための体制作り
(人材、組織、体制、システム)

販管費増加要因	差異
(1) 新規人材の募集費	+ 0.7
(2) 増床分家賃	+ 0.8
(3) 人員増加によるPC等の備品費	+ 0.9
(4) 海外出張費	+ 0.7
(5) 対ユニシス社訴訟費用	+ 2.0
(6) その他(新HRシステムなど)	+ 2.5
合計(億円)	+ 7.5

研究開発費の増加(11.5億円)
顧客獲得できたこともあり、前倒しで
戦略的に開発投資。
一部は、すでにライセンスして、回収
開始。

研究開発投資 増加要因	増加	投資内容
24期以降の売上に 大きく貢献する分野へ の投資強化	+7.1	DLNA/ Doc Viewer/ Sync Client
		欧州 Operator 対応
		ALP(日本語対応など)
		DoCoMo 関連
23期の売上、24期以降 の売上に貢献する分野 への投資強化	+0.9	IMS 製品化
		Viewer ソフト
		1seg/3seg ブラウザ
競争力強化	+1.3	Browser コア技術
その他	+2.2	情報家電向けなど
合計(億円)	+11.5	

. 対策と来期業績予測

課題の解決と今後： 今期の問題を学習し、来期は着実に成果を出すACCESS

- (1) 国内刈り取りフェーズへ
 - ・海外メーカーも継続案件で、安定化。
- (2) 海外市場立ち上がり、グローバル体制で対応
 - ・顧客メーカーの近くで、密なサポート：
 - ACCESS Seoul ... SAMSUNG対応(量産フェーズへ)
 - ACCESS Europe (ドイツ、フランス)
 - ACCESS China (北京、南京、上海)
- (3) 受託開発の粗利率は、ACCESS Group リソース(中国など)の活用で安定的に効率化
(本社・執行役員(元開発本部長)の趙を10月よりACCESS China副社長に)
- (4) ALP の開発も一段落し、研究開発はコントロールしながら継続
- (5) 管理体制の強化
 - ・室伏を中心に本社体制強化を推進(経理・財務、予実管理)
 - ・Jeanne Seeley (Global CFO, ASA社長)を中心に連結管理強化
 - ・Global開発リソースをコントロールする部署を新設

第24期連結業績予測



(百万円)

	2006年3月 発表時点	今回発表
売上高	37,000	35,000
売上総利益	-	24,500
販管費(通常経費)	-	16,500
営業損益(特殊経費前)	8,200	8,000
販管費(暖簾代等特殊経費)	-	13,940
営業損益(特殊経費後)	-	5,940
経常損益	8,200	5,940
当期損益	-	7,540

PalmOS旧ライセンス
契約約41億円を見込
んでいました。

PalmOS新ライセンス
契約約51億円を見込
んでいます。

今後、来期に向けて、さらに詳細をつめて行きます。

来期(第24期)業績予測のベース



○ 販売台数の目標

(万台)

	国内携帯	海外携帯	非携帯	合計
第23期実績	3,500	3,000	2,000	8,500
第24期目標	4,000	7,000	2,500	13,500

○ 主力事業の売上目標

310億円 (23期約236億円)

- 受託開発 127億円 (23期約110億円)
- ロイヤリティ 183億円 (23期約126億円) 前年比 145%
(23期、24期とも PalmOS 分ロイヤリティ含む)

○ 新規事業分野 (IPI、AP、AMS、RZ、CV等)の売上目標 40億円 (23期約28億円)

○ 粗利率の目標

- 受託開発 **40%**
- ACCESS Group 中国リソースも活用して効率化

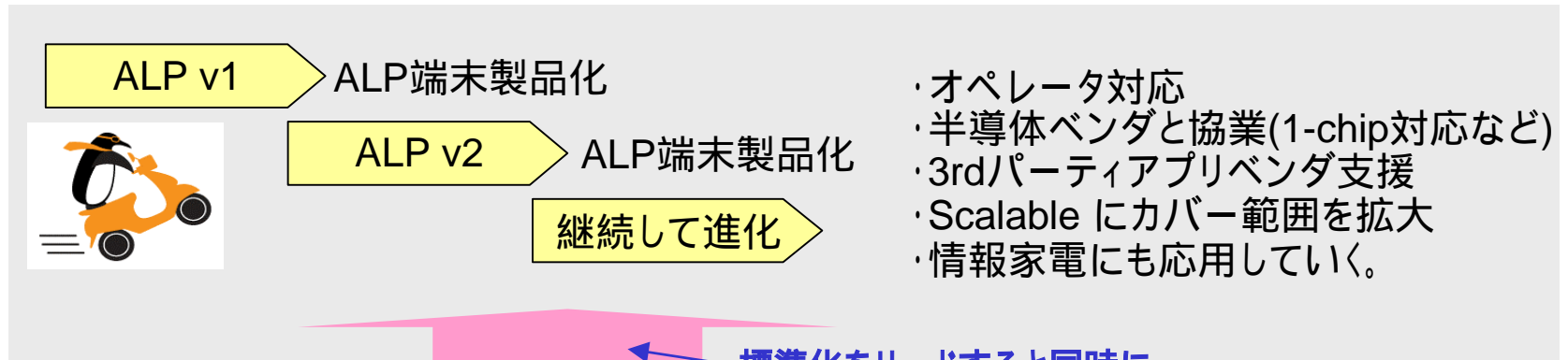
- ALP (ACCESS Linux Platform)の開発状況
 - 現在、 版リリースへ向け、QA/テストのフェーズ
 - 現在、Early Access 版を**先行ベンダに提供中**
 - 3rdパーティー・アプリケーション・パートナーに、SDK 提供を計画中
 - 2007年1Q、PDK (Product Developing Kit) リリース
 - 2007年中に、ALP搭載製品出荷予定
- 欧州の大手キャリア Orange が ALP 採用を表明(2006年8月14日プレス)
 - さらに、ALP 向け Orange Application Package も共同開発
- 世界最大のWireless展示会 3GSM Congress (2007年2月バルセロナ)に向けて、複数の発表を準備中。
- Linux 携帯(OSにLinuxに使っている)から今後 Linux Platform 携帯(Linuxアプリを追加可能)へ。ALPがリード。

Linux Platform の業界ロードマップ



2006 2007 2008 2009 2010

ACCESSの
ロードマップ



携帯Linux
標準化

LiPS

OSDL MLI

6社連合

標準化

標準化

標準化をリードすると同時に
決まったものから取り入れて行く。

... Linux Platform の標準化は段階的に進んで
行くと考えられる。

関連する
業界の動き

ワンセグ ... 放送と通信の融合 高速3G

NGN 商用開始 ... IPマルチキャスト/FMC

VoIP携帯 ... WiMAX, 802.20, ...

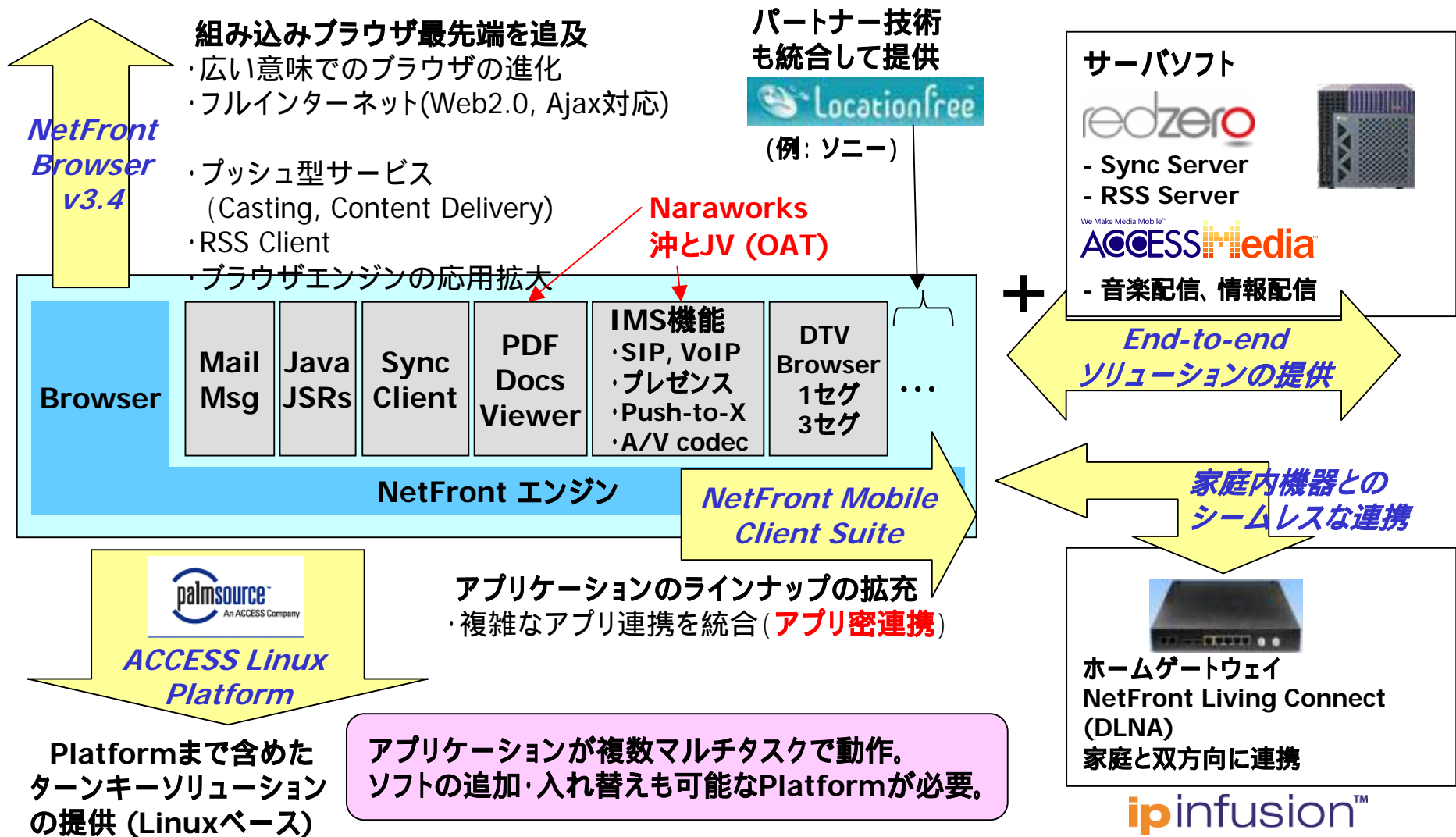
Mobile Web2.0

. Appendix: ACCESSの成長戦略

ACCESS グループとしての総合力 今後の技術・製品展開



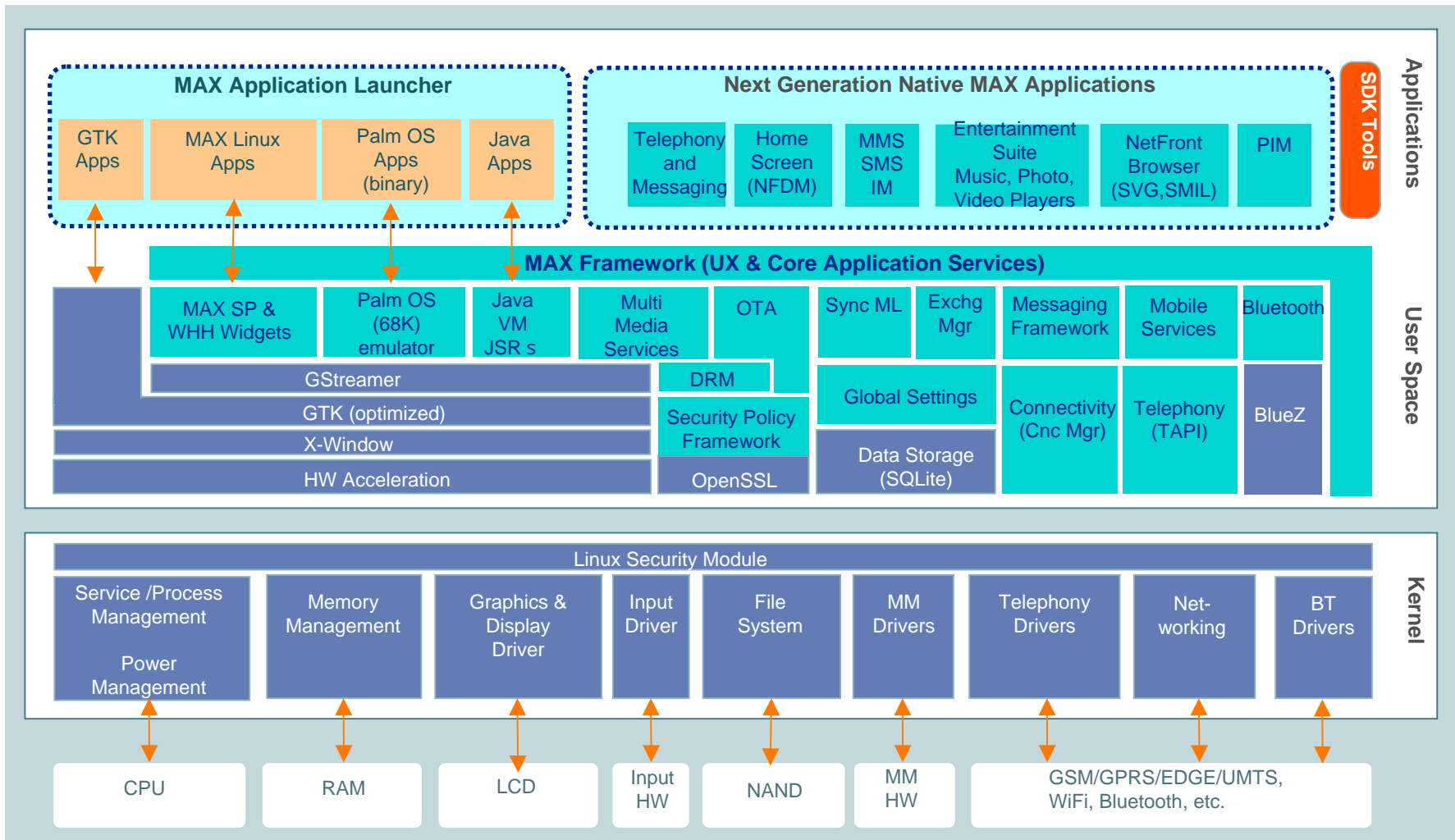
今後、端末に要求される機能・仕組みを先取りし、端末ソフト、トータルソリューションを提供していく。



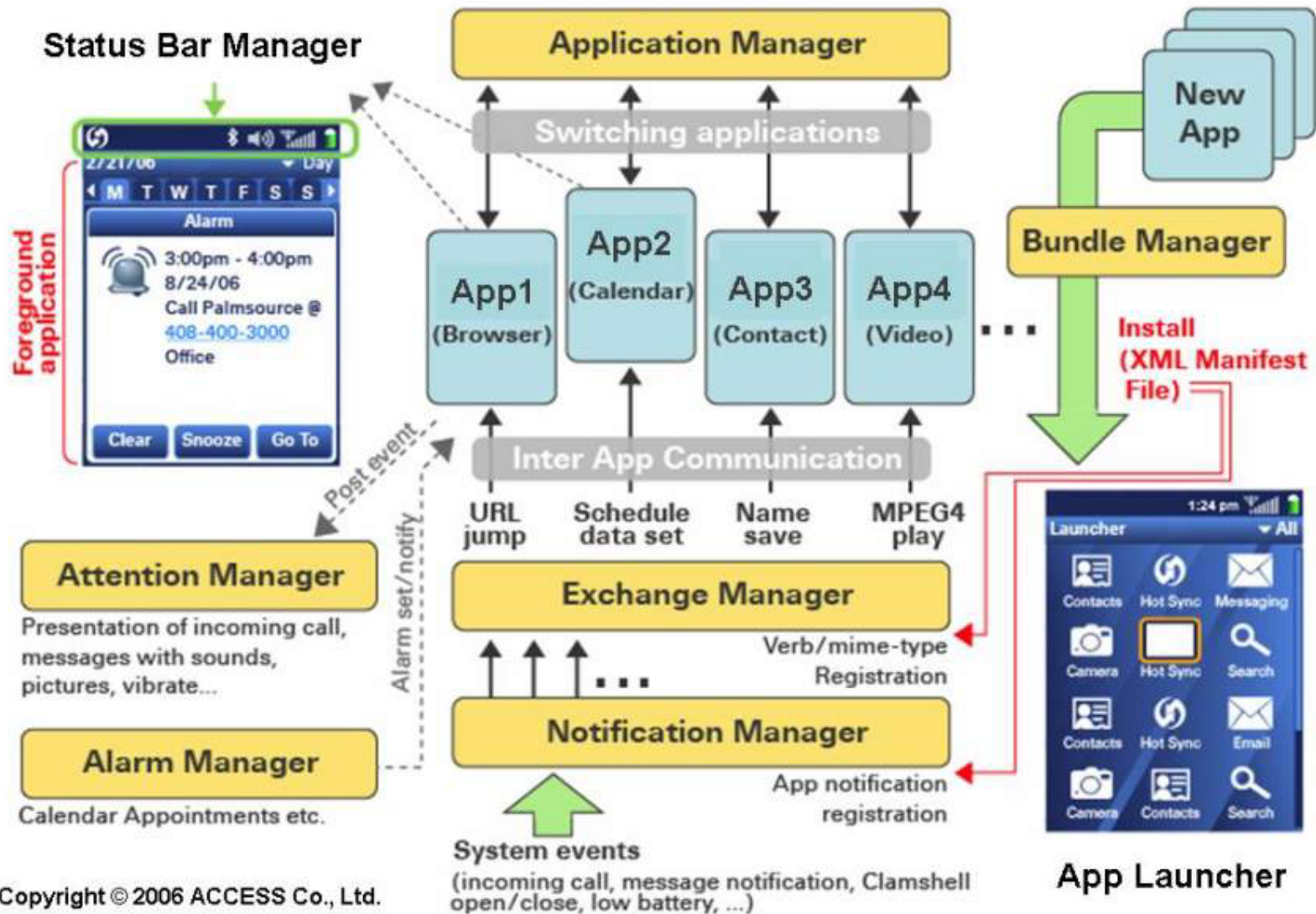
ACCESS Linux Platform (ALP)



Linux をベースとして、携帯電話に必要なソフトウェア一式をすべて統合した Platform。3rd Party に SDK を提供して、アプリ開発も促進する。これほどすべて統合された Linux Platform は、世界初。



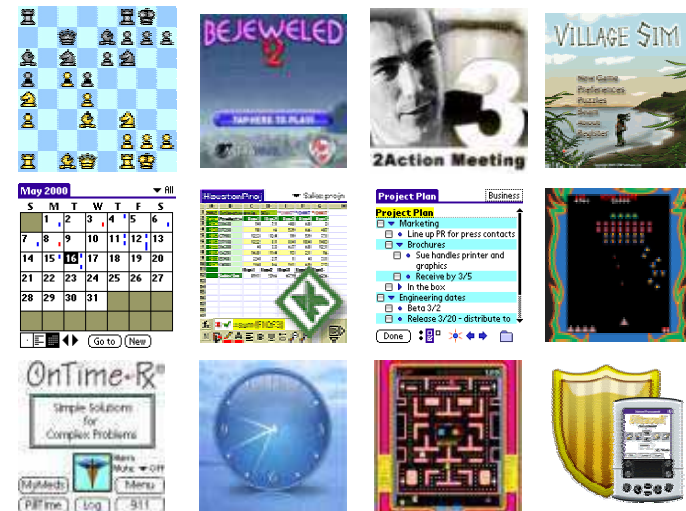
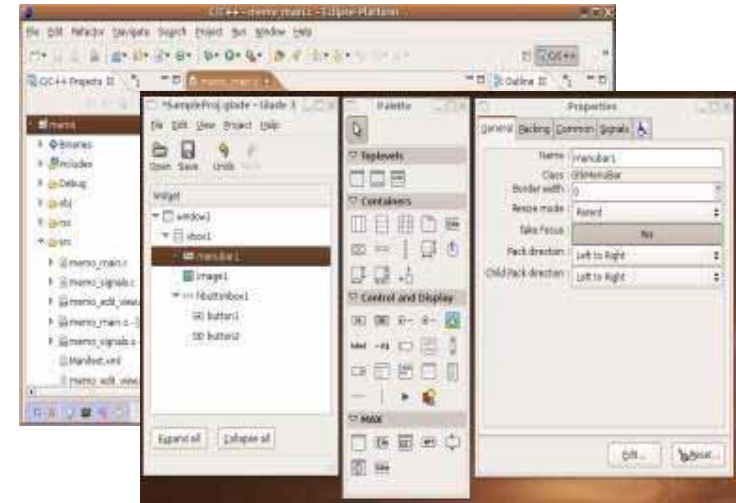
ALP Application Framework Overview



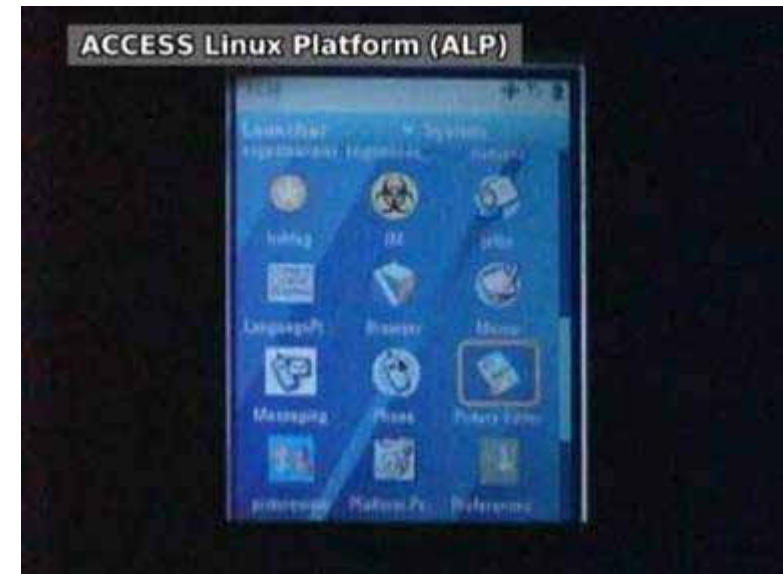
ACCESS Developer Network アプリケーション開発を支援していきます



- ALP は、Linuxベースの Application Platform を提供する。
- サードパーティ向けの SDK も提供。
- PalmOS エミュレータも準備して、PalmOSアプリもそのまま実行可能。42万人の Palm Community も活用。
- 開発者向けのトレーニング



○ 各種リファレンスハードウェアで ALP 動作中

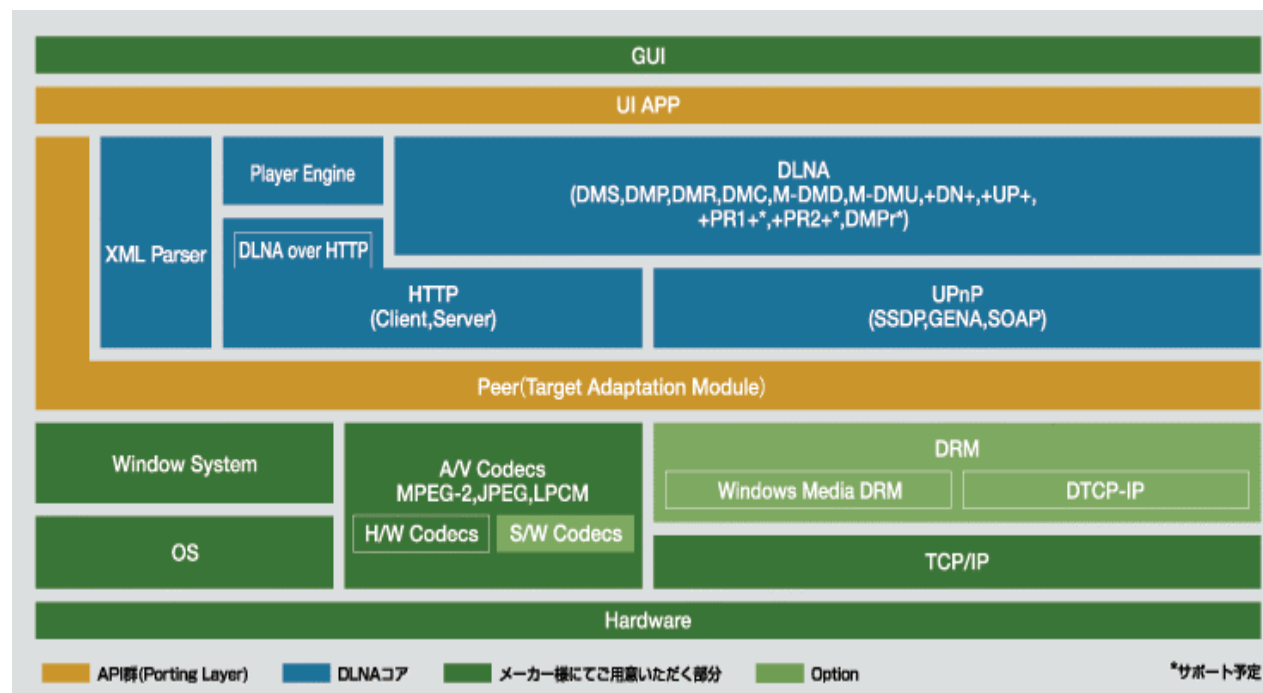


(協力: 株式会社ソフィアシステムズ)

NetFront Living Connect – DLNA 1.5 ipinfusion™ と共同開発



- 家庭内のAV機器、PC、携帯電話を連携させる。ネットワーク(有線・無線LAN, Bluetooth) に接続するだけで、画像、音楽、ビデオを楽しむようになる。
- DLNA 加盟企業 250社以上、DLNAガイドラインv1.5 でモバイル機器・プリンタ向け仕様が追加された。Microsoft も Windows Vista で対応。
- OAT のコーデック(Video, Audio) もセットで提供。
- 「NetFront Living Connect SDK v1.0」を発表



サポートハードウェア例:

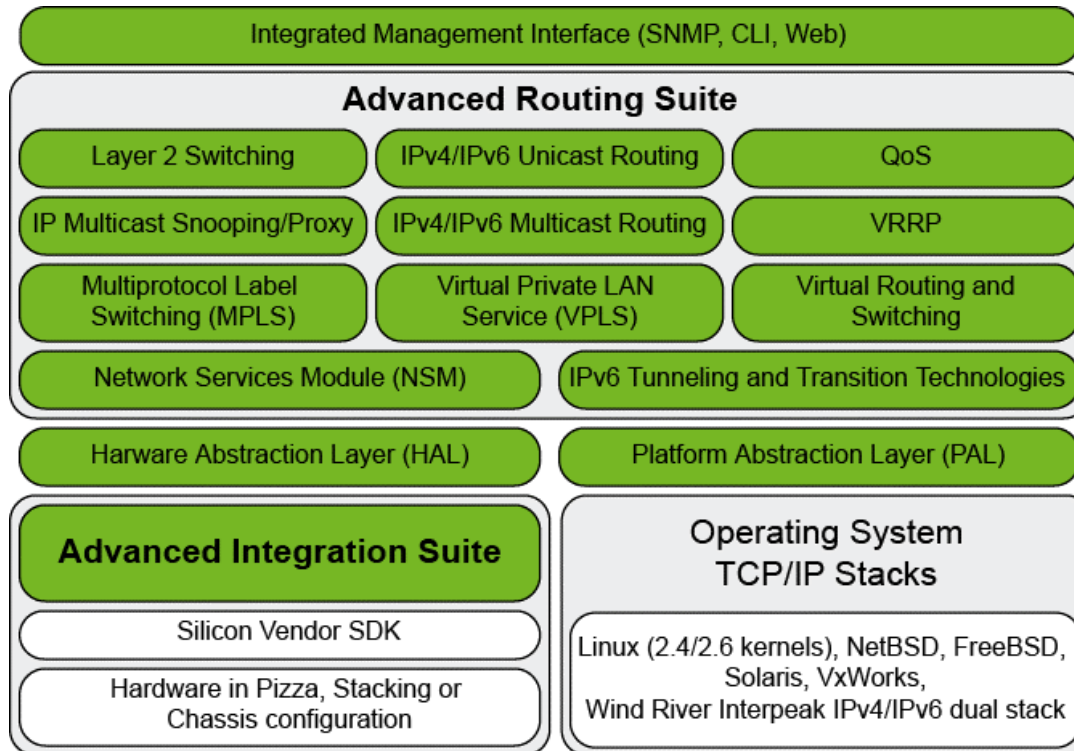


ルネサステクノロジ
「SH7781リファレンスプラットフォーム」



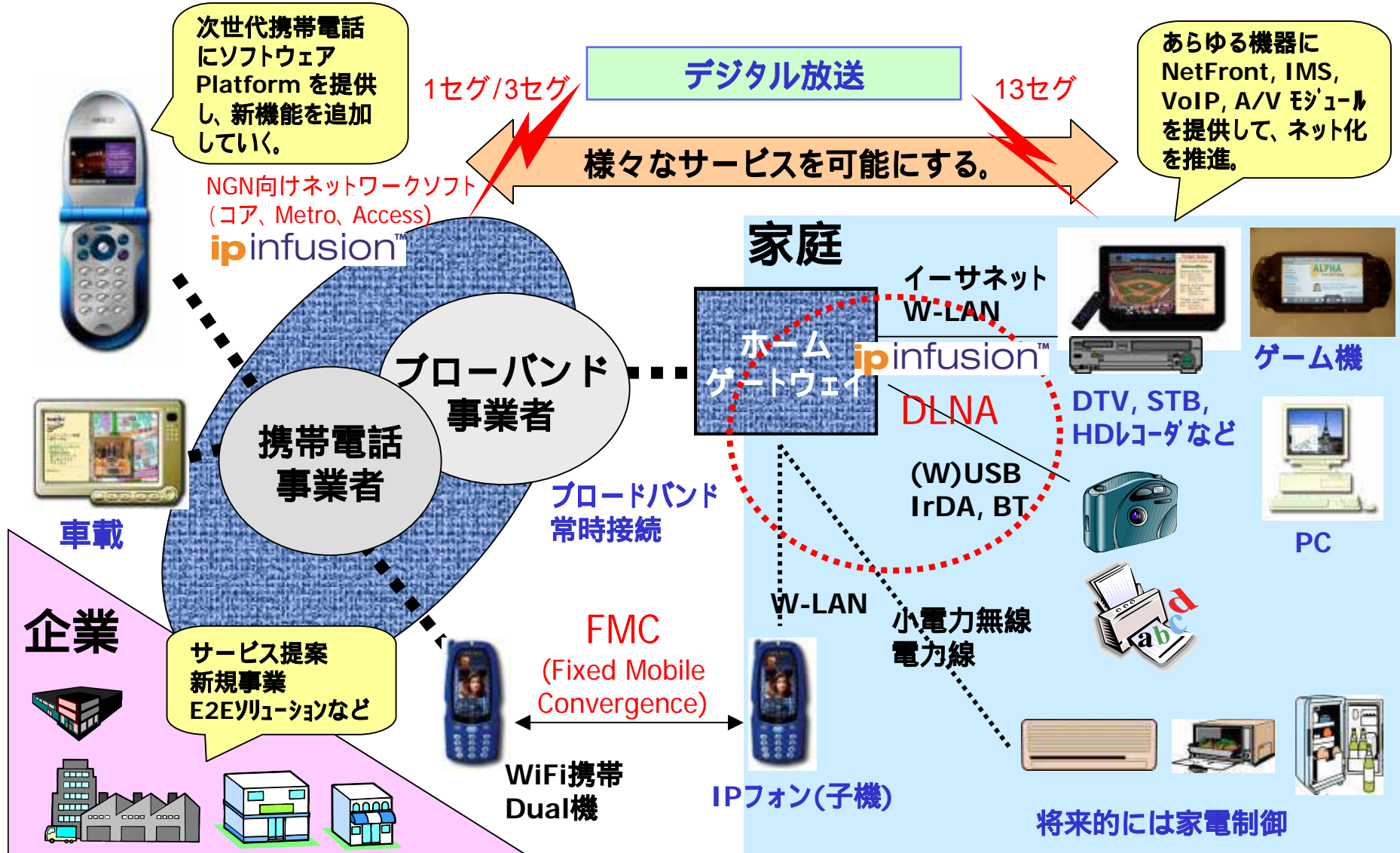
シグマデザインジャパン
「SMP8634 Secure Media Processor」

ZebOS 次世代ネットワーク(NGN)に対応



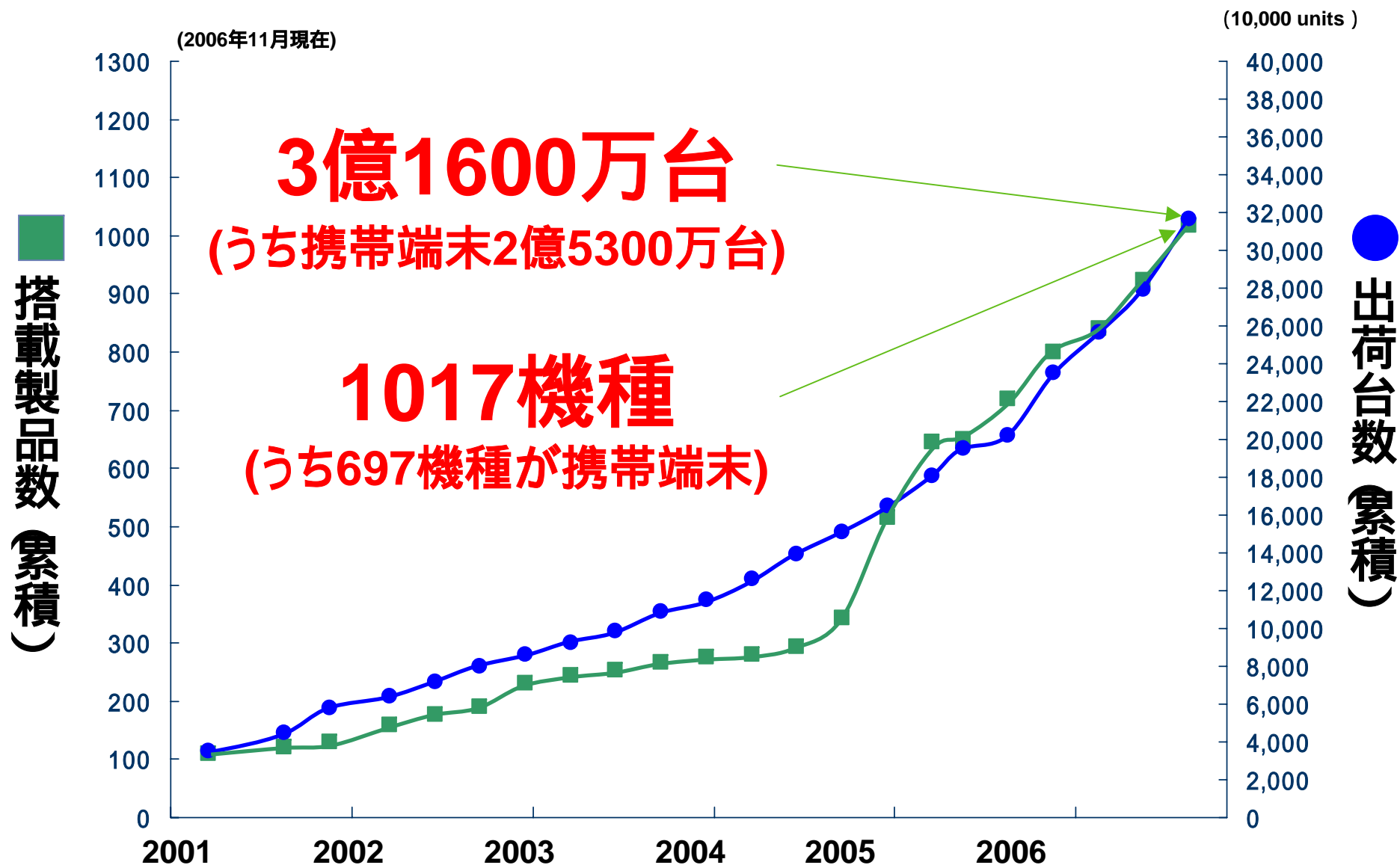
Switch/Router のテストラボ

Ubiquitous Connectivity を実現する



. Appendix: 既存ビジネスの成果

累計出荷台数 - 3億1600万台突破



MNPを機に拡大する国内ビジネス 23期3Q 国内主要リリース製品

ナンバーポータビリティ開始で、新機種が続々登場



グローバルに拡大するビジネス Samsung向けにNetFrontブラウザ搭載



グローバルに拡大するビジネス SonyEricsson向けにNetFrontブラウザ搭載



Walkman™ music phones

(Walkman® player, Multimedia software, 2 MP camera)

- **W300i/c** Triband
- **W550i/c** Triband
- **W600i/c** Quadband+Edge
- **W710i/c** Quadband+Edge
- **W810i/c** Quadband+Edge
- **W830i/c** Triband+UMTS (announced)
- **W850i** Triband+UMTS
- **W900i/c** Triband+UMTS



Cyber-Shot™ imaging phones

(3.2 MP camera, xenon flash, image stabilizer, QVGA screen)

- **K790a/i/c/K800i**
K790a, K790i, K790c: Triband+EDGE
K800i: Triband+UMTS



Feature phones

- **K310i/a/c** Triband
- **K320i** Triband
- **K510i/a/c** Triband
- **K610i** Triband+UMTS
- **K610im** Triband+UMTS i-mode™
- **K618i** Triband+UMTS
- **V630i** Triband+UMTS
- **Z310i/a** Triband (announced)
- **Z530i/c** Triband
- **Z550i/a/c** Triband
- **Z558i/c** Triband
- **Z610i** Triband
- **Z710i/c** Quadband+Edge



a = Americas, i = International, c = China
Source: SE website as of 2006-12-05

グローバルに拡大するビジネス 中国3G市場でもNetFront浸透

来るべき中国3G市場でも、主要プレーヤと緊密な関係

- 世界市場向け3G携帯電話 (Amoi, ZTE等の中国メーカー)



ZTE866 for UK H3G



ZTE868 for Taiwan VIBO



ZTE869 for Italy TIM



ZTEv520 for Taiwan VIBO

今後も
続々
発売予定!



Amoi MD-1 for Italy H3G



Amoi Mos1 for H3G



Amoi V810 for Mexico Iusacell

中国の携帯電話メーカー
の世界市場進出を支える

- 中国市場向け3G携帯電話 (LG, Motorola, UTS等)



LG KG90C
for China Unicom



Motorola V3
for China Unicom



UTStarcom
for China Unicom

世界の携帯電話メーカー
の中国市場進出を支える

「あらゆる機器にNetFront」を目指し、新分野へ布石

放送監視装置分野



横河電気

学習機器分野



Vtech
Vflash

DVD/HDDレコーダー分野



MITSUBISHI
「楽レコ」